

CAMPUS 八戸学院

vol.47

学校法人光星学院
創立60周年記念式典・祝賀会
記念ミュージカル

新たなシンボル誕生

理事長散策
新弓道場落成にあたり



創立60周年記念式典

平成29年11月12日 八戸市公会堂



次 第

開会 13:00
国歌斉唱
祈り
学院の歩み
式辞
記念事業紹介
祝辞
校歌独唱
学生代表のこぼ
式歌合唱
閉会 14:00

特別来賓

衆議院議長	大島 理森 氏
文部科学副大臣	丹羽 秀樹 氏
青森県知事	三村 申吾 氏
八戸市長	小林 眞 氏
衆議院議員	江渡 聡徳 氏
参議院議員	滝沢 求 氏
参議院議員	田名部匡代 氏
青森県議会議員	熊谷 雄一 氏
日本私立大学協会副会長	高柳 元明 氏
学校法人玉川学園園長	小原 芳明 氏
八戸学院教育・研究・ 社会貢献後援会会長	吉田 誠夫 氏

「国歌斉唱」



各施設代表

長谷川華(大学)	柴田莉奈(短期大学部)
和田千尋(光星高)	北村千秋(野西高)
寺下駿登(八学幼)	中村心春(八学幼)
川口航輝(聖アンナ)	駒井杏里(聖アンナ)
佐々木惇成(第二しのめ)	田口明依(第二しのめ)



「アンサンブル演奏」

開式前の30分間、光星高等学校吹奏楽部による打楽器、木管、金管のアンサンブル演奏が披露されました。

CONTENTS

- 3 学校法人光星学院
創立60周年記念式典
- 4 全人的陶冶の可能性を求めて
- 5 学院のあゆみ
- 6 校歌独唱／学生代表のこぼ
- 7 学校法人光星学院
創立60周年記念祝賀会
- 8 学校法人光星学院
創立60周年記念ミュージカル
「北の大地に60年」
- 12 学校法人光星学院
創立60周年記念モニュメント除幕式
- 14 学校法人光星学院
創立60周年記念ガーデンパーティー
- 16 八戸学院の将来像
- 18 理事長散策

創立60周年記念誌 エコトーンの森へ

印 刷 川口印刷工業株式会社
企画・編集協力 村田久(有限会社北の杜舎)
創立60周年記念誌委員会
委員長 茂木典子
委員 岩浪始由、遠藤守人、大久保等、大沢泉、大関武仁、岡沼真由美、佐貫巧、高屋敷好孝、田頭寛、沼岡裕一、羽入雪子、東出まさえ、道合康子、門馬修、吉田ひろみ



CAMPUS 八戸学院

vol.47



表紙

八戸市公会堂で行われた創立60周年記念式典は、八戸学院大学短期大学部幼児保育学科164名による式歌「ハレルヤ」の合唱で幕が閉じられた。

建学の精神 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄付行為 第3条)

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

理事長 式辞より

全人的陶冶の可能性を求めて

高等学校から始まった本学院は、今日まで60年という歳月を経て、短期大学、大学という高等教育機関を有する学院になりました。この間、外郭団体の皆様、地域の皆様をはじめとして、多くの関係各位からご指導ご支援を頂いて参りましたが、今日の発展は学院の運営に直接関わって頂いた、教職員の力無くしてはあり得ないことだと思っております。

改めてこの機に臨み、本学院に関わりましたすべての方々に、法人を代表して深甚なる感謝を表します。そして本日、創立60周年の式典を、大島理森衆議院議長、丹羽秀樹文部科学副大臣はじめご来賓各位のご臨席を賜り、お祝いできますことは、本学院にとりましてこの上もない慶びであります。

創設者、中村由太郎先生は「若人に教育を与え、人格の陶冶を図り、実学を持って地域に貢献せん」という思いで、立体的総合学園構想を掲げて教育環境を整備してきま

した。今日までに法人全ての学校から、優に6万人になろうとする卒業生が巣立ち「地の塩、世の光」となってくれていることに、私どもは誇りを感じています。そして今、私たちはこの記念すべき日にカトリック精神に基づく建学の初心に立ち返り、人間誰もが持つ唯一無二の個性の伸張を図り、全人的陶冶の可能性を求めて、個性尊重の教育を主眼とした全人教育を進めていくつもりであります。

これからは、今日を契機に先人から受け継いだ思いをしっかりと受け止めて、地域に愛される学院を目指すとともに、新立体的総合学園構想の実現のために学院「丸」となつて未来に一歩を踏み出したいと思っております。

平成二十九年十月十二日

学校法人光星学院

理事長 法官 新一

学院のあゆみ

創設者「中村由太郎」

明治29年、現在の八戸市白銀で網元をしていた「法官鐵太郎」の5男4女の三男として生まれ、大正11年に運送業を営んでいた「中村千代吉」の婿養子となり、千代吉の長女「キヌ」と結婚し、「キヤ」、「キセ」の二人の子宝に恵まれました。

実業界から教育界への転身

戦争が始まると、運送業の企業合併や、教会に併設していた「和洋裁縫女塾」の廃



運送業時代の由太郎（2列目中央）

We Chat



和洋裁縫女塾

校の危機に直面しました。カトリックの洗礼を受けていた由太郎は、このとき迷うことなく、運送業から身を引き「和洋裁縫女塾」の経営を引き受けることを決めました。50代を目前としての実業界から教育界への転身は、凡そ10年間で戦争の中で生き、様々な抑圧の中で抱いた学問への強い思いがあったようです。

昭和31年「光星学院高等学校」の誕生

やがて終戦を迎え、「由太郎」は、国が定めた新しい学校制度に伴い「和洋裁縫女塾」を「白菊高等学校（現 八戸聖ウルスラ学院高等学校）」へと昇格させ、「ウルスラ

修道院」にその全てを寄贈いたしました。一方で、当時、八戸市では男子のための高等学校が不足しており、進学を希望する若者たちのための高等学校が早急に必要であると強く感じ、女子校である「白菊高等学校」を母体とした男子校を作ること考えたのでした。建学への並々ならぬ情熱に突き動か

されるように、昭和31年に「光星学院高等学校」が誕生しました。その3年後には「白菊学園」から独立し「学校法人光星学院」が設立され、初代理事長となりました。その後、亡くなるまでのわずか25年余りの間に、四年制大学、短期大学、専門学校、高等学校を2校、幼稚園を6園を設置したのであります。正に、全力疾走で駆け抜ける様相でありました。

昭和46年「立体的学園構想」

「由太郎」の教育への情熱は、歳月を重ねても決して衰えることは無く、むしろ年々、より確かなものとして地域に根差していった



昭和46年7月24日付「光星新聞」より

ように思われます。その象徴の一つとして、「立体的総合学園の構想」を打ち出しました。「教育には理想があり・・・」という言葉で始まるこの構想では、生涯教育について述べていて、幼稚園から大学、さらには大学院までの学校教育、そして社会における教育にまで触れています。

「由太郎」が亡くなって30年後の平成25年、学校法人光星学院の各教育施設は、全て「八戸学院」で始まる名称となり、「立体的総合学園」の実現へ今も歩み続けております。「由太郎」の言葉で『二つの仕事に「生懸命」に打ち込んでいれば、自然にその先が見えてくる。それを先見の明というのであるう。』という言葉があります。私どもは、光星学院が今日まで歩んできた60年を大きな財産として、今後も、学生・生徒・園児のために尽くし、その先にあるものを見据えていきます。



現在の美保野キャンパスの様子



学校法人光星学院

創立60周年記念祝賀会

11月12日 八戸プラザホテルアーバンホール



権現様の一斉歯打ち



山の神舞

おがみ神社 「法霊神楽」

青森県指定重要無形民俗文化財に指定されている法霊神楽は、獅子頭をかぶった舞い手が、一斉に獅子頭の歯を打ち鳴らす権現様の一斉歯打ちなど迫力に圧倒されました。

次 第
開会 15:00
協賛会長挨拶
理事長挨拶
来賓祝辞
「青春の絆」合唱
乾杯
祝宴
法霊神楽
閉会 17:00

最初に挨拶に立った泉山裕協賛会長から記念事業協賛のお礼と報告が述べられました。次に、法官新理事長は、先の記念式典に続く祝賀会出席のお礼と感謝のことばの後、八戸学院教育・研究・社会貢献後援会会長 吉田誠夫氏の乾杯のご発声で記念祝賀会が開宴となりました。

「青春の絆」合唱

平成25年「八戸学院」に校名を統一した記念にシンガーソングライター山本雅也氏(光星高校平成12年卒)に制作いただいた「青春の絆」を一本建成君(大学硬式野球部2年)指揮で高校・大学運動部中心に特別編成された214名が大合唱。その歌声は、会場いっぱいに響き渡り、参加者から感動の拍手が鳴りやみませんでした。



「校歌独唱」

八戸学院光星高等学校校歌 (作詞：中村キヤ／作曲：中村キセ)

学校法人光星学院始まりの地であり、本学院最初の校歌である「光星高等学校校歌」をソプラノ歌手として国内外のオペラ等で活躍している五十嵐由起子氏が披露しました。



五十嵐 由起子 氏
光星高校 普通科卒業
武蔵野音楽大学声楽科卒業
同大学院声楽科修士課程修了

私は、青森県中泊町の小泊村出身です。小学生から剣道を続けており、将来は、スポーツを通じた人づくりに貢献したいと思い、教師の道を目指して、木造高校から八戸学院大学に進学しました。進学するにあたり、運動のみならず、広い領域に渡った専門的知識を身に付けたいと考えて、様々な大学を調べました。そして、八戸学院大学が「心と身体の健康」について医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野の学びができることや、スポーツリーダーや認定トレーニング指導者、認定心理士などの様々な資格も取得できることを知り、自分が成長できる八戸学院大学に入學しました。

人間健康学科では、興味のある講義が多く、看護学や解剖学、心理学、地域スポーツ論など、未知の領域を切り開いていくことができました。さらに、教員になるために必要な教職課程の授業はもちろん、スポーツリーダーや認定心理士の資格取得に向けた取り組みもしています。その努力が認められ、成績・人物共に優れた学生に与えられる、「健康マイスター」に認定されました。

ゼミ活動では、自然を活用した健康増進についての研究をしています。地域住民に対する健康調査にも積極的に参加し、3年生からはリーダーとして活動しています。八戸市や階上町、洋野町など近隣の地域に赴き、住民の健康状態について、体組成計や骨密度計などの機器を使って測定・分析、健康状態の改善のための調査をしました。これらの活動は、地域住民の健康寿命の延伸に寄与することが期待されています。

八戸学院大学は、教職員と学生の距離がとても近く、学生が目標に向かって頑張っていると、本気で応援してくれます。私自身、本当に多くの先生方から学ぶことができ、意義ある学生生活を過ごすことができました。

これからは、大学で学んだことを活かして、大好きな青森県で、子供たちに夢を与えられるような教師になりたいと思っています。

本学院には、多くの学生・生徒・園児が生活していますが、皆、元気で明るく健康で立派に成長していただくことを念じつつ、60周年を機に、学院の一層の御発展を心よりお祈り申し上げ、在学生代表としてのお祝いの言葉といたします。



駒 目 透
健康医療学部
人間健康学科4年

学生代表のことば



ミュージカル『北の大地に60年』を終えて 舞台のエネルギーが未来を切り開く

脚本・演出 八戸市公民館館長 榎谷 伸夫

まず、学校法人光星学院創立60周年記念ミュージカル『北の大地に60年』に関わった全ての皆様に感謝だ。それぞれの担当部署での妥協を許さない姿勢に頭が下がった。特に、ステキな楽曲を提供下さった嵯峨昭彦さん。ユニークで楽しいダンスを振り付けて下さった嶋崎綾乃さん。上演中、舞台袖に待機しつつ、歌で盛り上げて下さった100人を超える短大生の皆さん。隣の公民館ホールでの長時間にわたる練習風景が印象に残っている。オーケストラピットでの生演奏は高校吹奏楽部。そして、園児たちのパフォーマンスを蔭で支えた各幼稚園の先生方等々、枚挙に暇がない。

法官理事長から「60周年を迎えるにあたり、学院の根っこ、即ち創立者 中村由太郎・キヤ父娘の業績を改めて見つめ直したい。そこにスポットを当てた内容にして欲しい。」との依頼があった。

たくさん資料から由太郎・キヤの事跡をひもとく作業は楽しかった。2人の言動が、正に現在の光星学院の隆盛の礎となっていると確信を得た。キヤのソロにその想いを込めた。

1 夢を見た 父と同じ夢を見た
この地に根付く 学び合う友と友
浜通りを切り開き 文化の風を吹き込み
喜び溢れる 仲間たち
空に光る星のよう 澄んだ瞳が輝いている
2 夢を見た 父と同じ夢を見た
この地に開く 子どもたちの笑顔
新しき学び舎に 響く教師と生徒の声
希望語り合う 顔と顔
空に光る星のよう 澄んだ瞳が輝いている
3 夢を見た 父と同じ夢を見た
マザーテレサに あこがれてた若き日
人々に尽くす心 神の言葉に導かれ
全身全霊 打ち込んで
空に光る星のよう 澄んだ瞳が輝いている

60周年は通過点に過ぎない。光星学院は、このキヤの想いを胸に刻んで歩み続ける。そしてその未来は、学院で学ぶ幼児・生徒・学生たちが、必ずや夜空に輝き続ける星となり、よりその勢いを増すことだろう。

舞台でのそれぞれのパフォーマンス。そのエネルギーは客席を圧倒していた。正に、節目の年を祝う喜びに溢れていた。このエネルギーが学院の未来を切り開く力となると確信を持った。



リハーサルの様子【11/7】



学校法人光星学院 創立60周年記念ミュージカル

平成29年11月8日 八戸市公会堂



光星学院の底力

八戸学院大学短期大学部
学長 外崎 充子

平成29年11月8日、ミュージカル『北の大地に60年』の幕が開き、そして閉じた。午後の部2部が閉じた後も、会場はしばらく熱気に包まれていた。出演者の顔、指導者の顔、観た人たちの顔、みんな輝いていた。もてる力を存分に発揮した園児・生徒・学生たち、それを認めた観客の人たち、みんなが喜びに浸っていた。

2年前から計画はあったものの、学校法人光星学院60年の歩みを表現するのは途方もない計画のように思われた。委員会が結成され、榎谷先生の脚本が出来、各学校の出演も決まっようやく全貌が見えてきたのは5月のころだった。

委員会は9回開かれ、事務局のリードによつて準備は加速していった。リハーサルでの榎谷先生の演出指導は見事だった。ほめたり、励ましたり、注文をつけたり、稽古をつけたら、出演者は見る見るうちに上達していった。私は明日の舞台の成功を確信して、理事長に本番を楽しみにしてくださいと報告をした。

「やればどんなことだって出来るんだ」私は光星学院と地域の底力を今さらのように実感した。脚本・演出の榎谷先生を始め、指導に当たった方々、運営に力を発揮された



ミュージカルの進行役を務めた八戸学院大学・短期大学部演劇部

皆様、見守ってくださったすべての方々に衷心よりお礼を申し上げます。
お蔭様で光星学院の過去をたたえ、現在を寿ぎ、将来の躍進を誓うミュージカルを上演できました。ありがとうございました。



野西高

のへじ祇園囃子



野西高

空手道部



劇中歌 ハレルヤ合唱



八戸小唄流し踊り

短大



短大ダンス「大変だ」



バントワリング



光星高

吹奏楽部



大学

軽音楽部



学校法人光星学院創立60周年記念ミュージカル
「北の大地に60年」パフォーマンス



八戸学院幼稚園

動～祭りのじゃわめき



大学

ラグビー部



3幼稚園合同

年中 もりのくまさん



光星高

チアリーディング部



聖アンナ

園歌サンバ



第二しのめ

喜びの歌



生命の川 cosmos

モニュメントの上部には、吹きガラスで制作したガラス玉がついています。ガラス玉は、宇宙をイメージしています。プロンズ部分は、空から雨が降り、地上から水蒸気として上がり循環して生命が育まれていく地球の創生や勢いよく流れる川をイメージしています。勢いよく流れる川は、時には周辺にある土や草木を削りながら地上が形成されると同じように、皆さんもお父さん、お母さんのDNAを受け継ぎ、おじいさん、おばあさん、友達、学校の先生など様々な人との出会いや経験により自分形成されていくことを現しています。

今後、このモニュメントが学校のシンボルとして、皆さんの学校生活の支えになれるような存在になれば嬉しいです。



製作者
北 郷 悟 氏
東京藝術大学
理事・教授



学院の新たなシンボル「生命の川 cosmos」誕生

創立60周年記念事業の4つの柱の一つ「記念モニュメント建立」は、モニュメント建立委員会においてモニュメントの内容や建立場所など様々な検討を重ね、作品の制作を東京藝術大学教授の北郷悟氏に依頼すること、設置場所は学校発祥の地である八戸学院光星高校とすることを決めました。

昨年8月に北郷先生に八戸においていただいた際、光星高校を隈なくご覧になり、中庭に建立することが決まりました。

モニュメントのテーマを「生命の川 cosmos」とし昨年12月より制作が始まり、今年の9月初めに完成、国立新美術館での展示を経て、10月14日（土）除幕式の運びとなりました。

当日は光星高校学園祭初日にあたり全校生徒がモニュメントを取り囲む中、法官理事長、泉山協賛会長、中川原モニュメント委員会委員長の挨拶の後除幕が行われ、除幕の瞬間その存在感と美しさに何とも言えないため息が中庭全体を包み込み、その芸術性の高さから学院の新たなシンボルの誕生と強く感じました。

最後に、モニュメントの台座はニューインペリアルレッドという石でとても希少で高価な石材ですが、光星高校卒業生の(有)館石材（館良二氏）に特別に準備していただきました。また、このモニュメントの製作者である北郷先生を紹介してくださった方も卒業生であり、卒業生が強く関与して完成したことをお知らせして、除幕式の報告といたします。

創立60周年記念事業推進事務局
事務局長 古川 聡

学校法人光星学院
創立60周年

記念モニュメント除幕式【10/14】





バルーンアートショー

うちゃんショー



宮路オサム特別公演

美保野ガーデンパーティー
ステージイベント



八戸学院大学軽音楽部



学校法人光星学院創立60周年記念「ホームカミングデー」として平成29年8月26日(土)に美保野キャンパスにてガーデンパーティーが初開催されました。

当日は天候にも恵まれ、多くの卒業生や教職員、外郭団体・地域企業の方々が来場する中、司会進行役として、内山千早さん、藤ヶ森高子さん、吉田双葉さん(八戸学院大学1年生)の3名が担当。午前の部はうちゃんショー、八戸学院大学生によるバンド演奏、バルーンアートが行われました。特にバルーンアートは、来場した子供たちと一緒に体験できる楽しいステージアトラクションでした。午後の部は陸上自衛隊第9音楽隊のよる演奏や宮路オサム特別公演が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、会場には八戸パークホテルなど地元企業の協力により「こだわりフード」や「アルコール飲料、ソフトドリンク」などが用意され、ステージアトラクションのほかにもガーデンパーティーらしい雰囲気ので来場した方々に楽しんでいただけました。

なお、ホームカミングデーは創立60周年記念協賛会の協賛、八戸学院の各施設の外郭団体や八戸学院教育・研究・社会貢献後援会のご後援により開催されましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

美保野ガーデンパーティープロジェクト

リーダー 松山 政義

学校法人光星学院 創立60周年記念 美保野ガーデンパーティー[8/26]

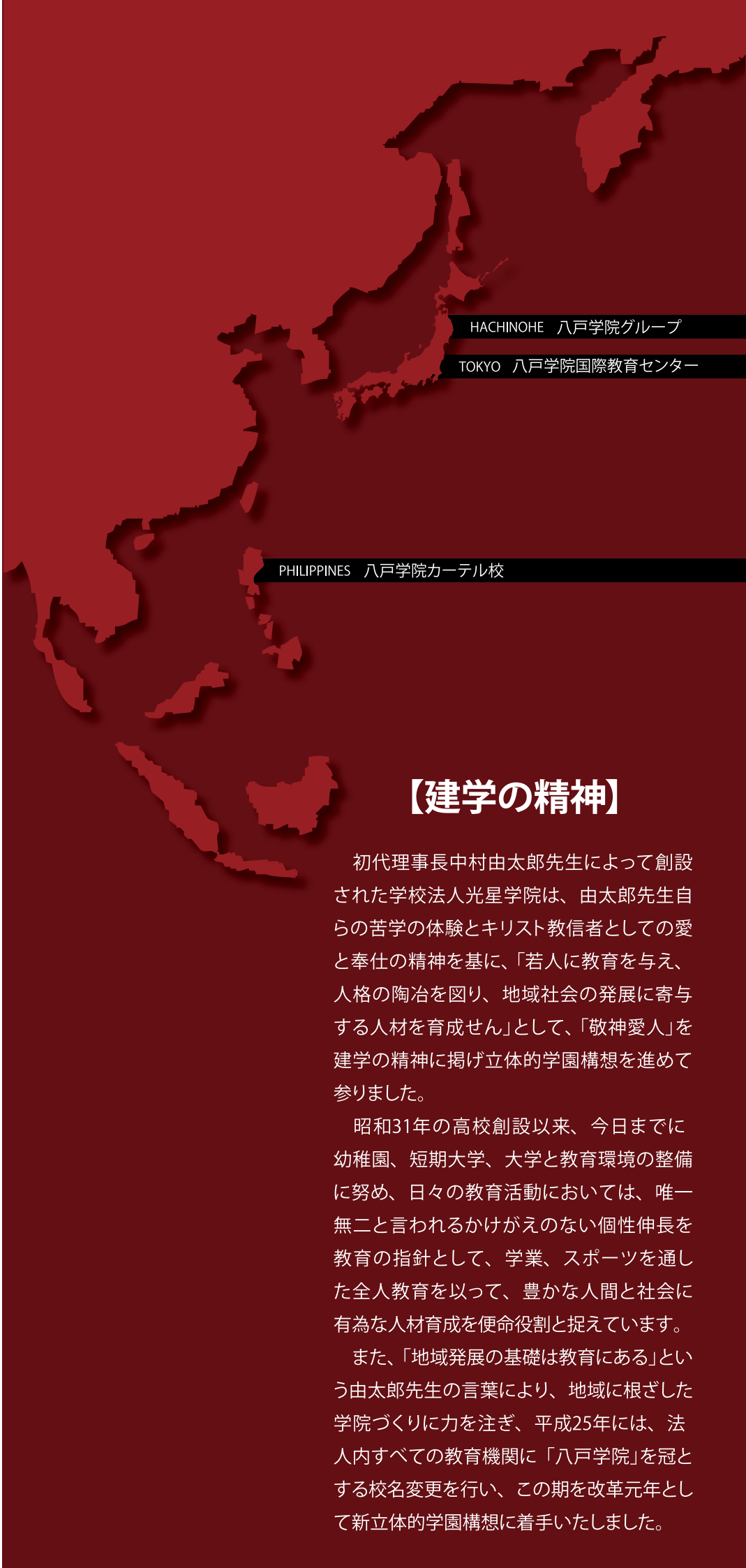
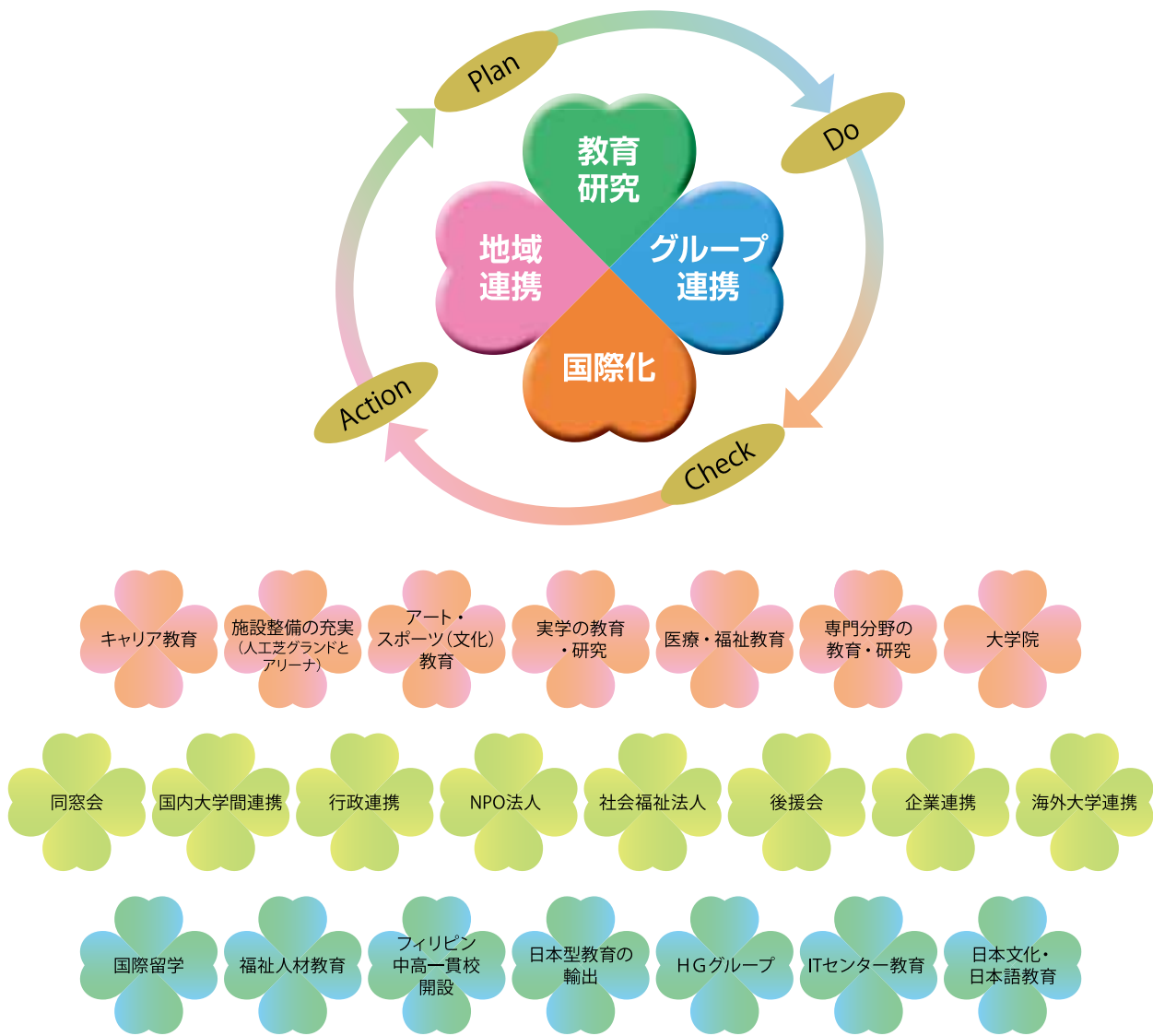


八戸学院は「教育の力」で地域・国際社会に貢献！

◆新立体的総合学園構想

私たちは、本学院の一層の充実・発展を期するためには、改めて建学の精神・理念に立ち返り、新構想実現に向けた取り組みとして、以下、4つの柱に沿った新しい時代の教育活動を地域とともに展開します。

- 1——教育の質(力)の向上
- 2——学院の特色強化とグループ連携
- 3——地域連携による経営基盤強化と共生
- 4——新時代の国際教育の研究と実践

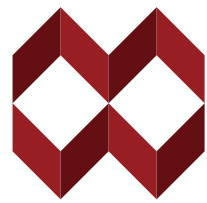


【建学の精神】

初代理事長中村由太郎先生によって創設された学校法人光星学院は、由太郎先生自らの苦学の体験とキリスト教信者としての愛と奉仕の精神を基に、「若人に教育を与え、人格の陶冶を図り、地域社会の発展に寄与する人材を育成せん」として、「敬神愛人」を建学の精神に掲げ立体的学園構想を進めて参りました。

昭和31年の高校創設以来、今日までに幼稚園、短期大学、大学と教育環境の整備に努め、日々の教育活動においては、唯一無二と言われるかけがえのない個性伸長を教育の指針として、学業、スポーツを通じた全人教育を以って、豊かな人間と社会に有為な人材育成を使命役割と捉えています。

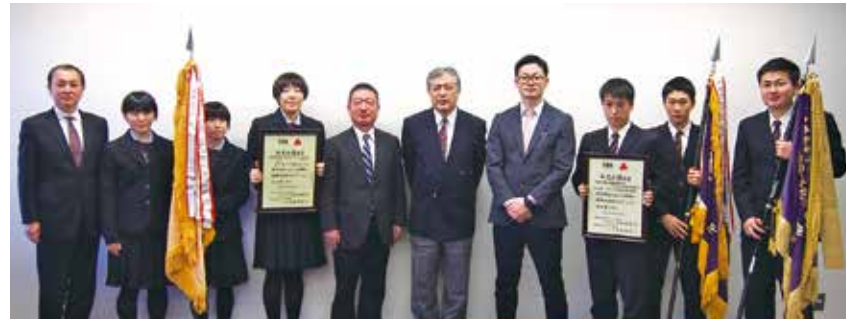
また、「地域発展の基礎は教育にある」という由太郎先生の言葉により、地域に根ざした学院づくりに力を注ぎ、平成25年には、法人内すべての教育機関に「八戸学院」を冠とする校名変更を行い、この期を改革元年として新立体的学園構想に着手いたしました。



八戸学院の将来像

八戸学院は、創立60周年を新時代の始まりと位置づけ、四つの柱を掲げ北東北の特色ある学院を目指します。

～理事長訪問～ 全国大会での健闘を誓う!



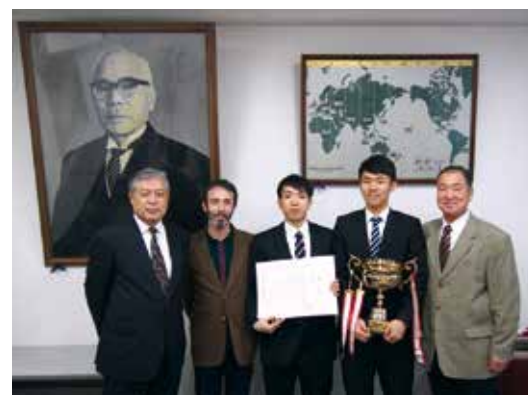
**光星高等学校 男子バスケットボール部
女子バスケットボール部[11/28]**

第70回全国高校バスケットボール選手権大会青森県予選で男女アベック優勝という快挙を成し遂げ、ウインターカップ2017 第70回全国高校バスケットボール選手権大会出場切符をつかみました。



**八戸学院大学 スピードスケート部
澤尻磨里英さん[12/5]**

第37回全日本スピードスケート学生選手権大会で女子総合優勝を果たし、1月6日から軽井沢で開催される第90回日本学生氷上競技選手権大会に出場します。



八戸学院大学 アイスホッケー部[11/27]

12月25日から八戸で開催される第90回日本学生氷上競技選手権大会に出場します。



八戸学院大学 ラグビー部[11/14]

平成30年1月2日から名古屋で開催される第68回全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会に出場します。

盲目のシンガーソングライター 板橋かずゆき 氏[11/15]

(むつ市出身) 2009年10月5日光星高校での講演会をきっかけに誕生した、光星高校硬式野球部応援歌「だいじょうぶ」は、吹奏楽部の演奏で甲子園球場に響き渡りました。この日は、発売中のCDビジュアルブック「光」をお土産にいただき、現在の活動や拠点である東京での様子などをお聞きました。



板橋かずゆき公式HP <http://www.itakazu.com/>



CDビジュアルブック 光

道ヲ鍛錬スル広場ヲ道場トイウ

新弓道場落成にあたり

【平成29年9月22日】



法官 新一
Shinichi Hogan



射法大意の中に、「道ヲ錬磨スル広場ヲ道場トイウ」とある。更に、「道場トハ宗教的錬磨ニ使ワレル場所デアル」とある。

そもそも、梵語 *buddhi-manda* la という道場の原意は、悟りの場又は悟りを開く場所の意味である。道場に於いて、清掃、静粛、規律、厳格等を要求せられるのは、道場が人間形成の場であるということである。

私は、どの武道より弓道の場合、こうした考え方が非常に顕著のような気がする。

先人は武器としての弓矢を発見し、後にそれは鉄砲という強烈な武器にとつて代り、時代後れの役に立たないように感じられる弓具を、現代の我々に、肉体と精神を鍛える道具として残したのである。いかに文明が進歩しようとも、そこに生きる人間の普遍性というものを教えられるのである。



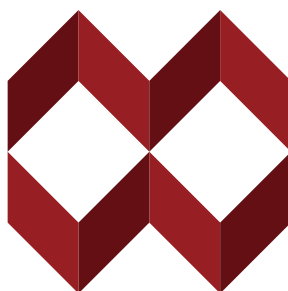
八戸学院大学弓道場「鳴弦館」落成式にて 矢渡し[9/22]

また、その形状からいかにも不合理と思われる日本の弓具は、武器としての機能は失ったものの、直線と曲線を併せ持った剛柔の調和した形は、芸術という領域まで高められているのである。

また、その射法は、自然の法則にかなっており、いかにも合理的で幾何学的「美」の追求がなされている。自然という自由の中にあつて、射法の運行には自らの規矩が存在しているのである。その錬磨によつては、射は「美」

の世界にまで高まり、錬磨によつては「聖」の世界を感じさせると言われている。所謂、弓矢を通して悟りの境地に入ると言うことであろう。いずれにしても、こう考えると「審固満分」、「射裡観徳」とか、「破邪顕彰」、「射者仁道也」とかいうことも、弓道に稽むものにとつては最もとうなずけるのである。

八戸大学弓道部 機関誌「鳴弦」
創刊号より抜粋 (平成九年二月)



八戸学院

マークに込めた精神は「八戸を愛する心」と「無限の可能性」、郷土の「南部菱刺」をモチーフに「連続性」をデザインしています。

HACHINOHE GAKUIN GROUP

八戸学院大学

八戸学院大学短期大学部

八戸学院光星高等学校／専攻科

八戸学院野辺地西高等学校

八戸学院幼稚園

八戸学院聖アンナ幼稚園

八戸学院第二しののめ幼稚園

八戸学院国際教育センター (HGIEC)

株式会社八戸学院グループ

八戸学院カーテル校 (HGカーテル)

学校法人光星学院

〒031-8544 青森県八戸市美保野13-98

電話 0178-30-1411

URL <http://kosei.hachinohe-u.ac.jp>